

## イワサキ経営グループ 活動報告 Activity Report

## 大盛況で幕を閉じた「売上アップ祭り」

セミナーの開催と並行して、お客様や地域に貢献するイベントも数多くありました。

その中でも、9月6日開催の「売上アップ祭り」は、(株)アーティスティックス様との共催でたくさんの方にご参加いただき盛大に開催致しました。

また、この夏は地域の学生との交流も多くありました。地域貢献活動の一環として、これからも学生との接点を多く持っていく予定です。



「誕生日が近いけど、何かほしい物ある？」

「ん~ビジネスバッグかなあ~」

こんな会話から、大切な人より贈られたのがこのビジネスバッグです。元々、ビジネスバッグ選びが苦手で、差し使えないバックを以前使用していました。しかし、一流のビジネスマンはしっかりした物を持っているからこそプロ並みのクオリティーが実現できる！との贈り主の思いから、ポーターの3wayバッグをプレゼントしてくれました。以前のバッグとは比べられないくらい軽さ持ちやすさ収納容量が良くなりました。贈り主の気持ちも伝わってるので、大切に扱っていこうと思います。

総合資産事業部 資産税課  
雑田 昌孝

## お気に入りの逸品

## My Favorite Of Gem

私のお気に入りの逸品は、高校に入学した時に買った計算機です。高校時代から、授業や必死で勉強して受けた試験、そして仕事でも使いづけている、いわば戦友のようなものです。

使い始めて15年経ち、見た目は傷だらけになってきてはいますが、なかなか買い換えることが出来ず、ずっと使っています。この相棒を、これからも大切に使っていきたいと思います。

監査部 監査推進室  
戸部 翼



各種お問い合わせはこちままで

**055-922-9870**

fax : 055-923-9240

電話受付／平日9:00～17:00

Iwasaki Keiei Group  
イワサキ経営グループ

平成29年10月1日発行(季刊 年4回発行)  
編集・広報委員会 発行所:イワサキ経営グループ  
〒410-8514 静岡県沼津市大岡877-6  
<http://www.tax-iwasaki.com>

IVASAKI GROUP 株式会社イワサキ経営・税理士法人イワサキ・株式会社財産ネットワークス静岡・駿河増販情報センター  
相続手続支援センター静岡・行政書士岩崎一雄事務所・株式会社フジFPパートナーズ・あいわ行政書士事務所

「いまじん」にお客様のチラシを同封します。  
詳しくは当社スタッフにお問い合わせください。

## 編集後記 Editor's Notes

夏の暑さもやっと過ぎ去り、朝晩、めっきり涼しくなって参りました。行楽の秋、スポーツの秋、食欲の秋…、皆様はどんな秋を堪能されますか。色々な秋を楽しんでみてはいかがでしょうか。 西島 佳祐

Iwasaki Management Magazine  
いまじん  
October 2017 Total No.170

## Iwasaki Management Magazine

## いまじん

イワサキ経営  
<http://www.tax-iwasaki.com>

検索

Oct.2017

10 Total.170



# 経産省ロカベン 一押しツール

とは!?

Cover

株式会社 沼津商会様

名義変更・相続税申告等  
相続関連業務に特化!  
設立4年!  
静岡支社インタビュー

- イワサキ経営 静岡支社インタビュー ..... 2
- お客様紹介 ..... 6
- 地域スポット情報 ..... 7  
富士山と街と海が一望できる!香貫山
- イワサキ経営グループ活動報告 ..... 8  
お気に入りの一枚

# 静岡で「相続」＝「イワサキ経営」 そう言われる会計事務所をめざして—

4年前に設立された静岡支社。現在9人の社員が在籍しており、さらに事業規模を拡大し続けています。静岡支社の現在とこれからについて、静岡支社統括マネージャーの小林直己に聞きました。

——静岡支社の成り立ちと、業務内容を聞かせて下さい。

静岡支社ができる以前から、静岡県の中部・西部地区のお客様の相続手続きや相続税申告のお手伝いはしておりましたが、当時は沼津本社からお客様のご自宅にお伺いしていました。徐々にですが、中部・西部地区でも相続手続きのサポートや相続税申告を依頼して下さる方が増えて、静岡に拠点をおいた方が、お客様にも迅速にサービスが提供できるということで、静岡事務所を立ち上げました。

現在は、生前の相続対策、相続発生後の相続手続き、相続税申告等

をメインに業務を行っています。

通常の会計事務所だと、中小企業や個人事業主の税務会計業務が中心となります。私たちも彼らの業務は一切行わず、相続関連業務に特化し、名義変更などの相続手続きや相続税申告の業務を中心に行っています。

——静岡支社でも積極的にセミナーを開催していますが、お客様の反響はどうですか？

セミナーは、「相続手続き」と「相続税」をテーマに、月1回のペースで順番に開催しています。

毎回30～50名くらいの方にご参加いただいているが、「一度参

加しただけでは、聞いたことを忘れてしまう」と言うことで、リピートされる方も多いいらっしゃいます。

特に静岡では、不動産、建設、保険、金融機関等の方々と一緒に相続の仕事をする機会が多いので、そのような業種の方がお客様と一緒にご参加されることも多いです。また、最近はご自身の相続税を自分で計算してみたいなど、勉強意欲の高い方が非常に多いですね。

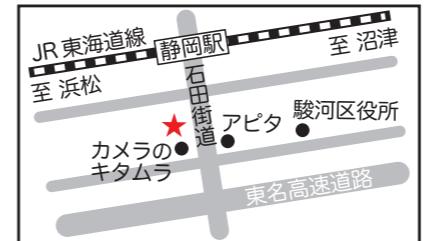
——業務を行ううえで、気を付けていることをお聞かせください。

一昨年の税制改正で、相続税の申告が必要になった方も2倍になりましたが、最近は相続人が遠方で



## 静岡支社DATA

〒422-8041  
静岡市駿河区中田4-2-6 あっとわん飛翔2階  
TEL:054-287-0056  
FAX:054-287-0057



あたり、お仕事があるため平日に手続きをするのが難しかったり、ご高齢であったりと私達がサポートすることによって、手続きがスムーズになることが沢山あります。また、スマートで検索すれば、すぐに答えがわかる時代ですが、調べたことがお客様自身の問題の答えになっているとは限りません。私たちが、お客様に対して最善のことを説明させていただき、納得したうえで、業務を進めるようになります。

——静岡支社は、9名在籍しているが、役割分担はどうなっているんですか？

相続税申告担当が3名、支援セ



ンター2名、FP1名、申告・支援センターのアシスタント2名で、私は全てに関わっています。

——静岡支社全体で心掛けていることをお聞かせ下さい。

私達全員の共通認識として、「挨拶」、「笑顔」、「感謝」そして「お客様の立場に立って考えること」は特に心掛け意識するようにしています。また、会社全体で、相続税申告が年間150件超、相続手続きは年間400件超のお手伝いをしており、それの約半分が静岡支社が窓口です。現在、申告と手続きが別々の業務になっていますが、今後は双方が上手く連動することによって、お客様にもよりクオリティの高い相続のサービスを提供できると思うので、支社内での円滑なコミュニケーションも意識しています。業務においては、今年から個人の相続に派生する、会社の事業承継の部分でも力を入れて定期的に情報発信をしており、隨時ご相談もいただいています。

——最後に、今後の目標を教えて下さい。

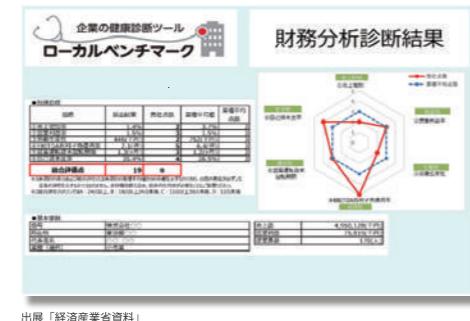
静岡支社は、相続関連ビジネスをされている方々とこれからも協力的に仕事をしていくので、静岡で「相続」の商社的立場になることが一つの目標です。静岡で「相続」と聞いたら、多くの方から「イワサキ経営」と言っていただけるよう頑張っています。また、私は3年前から、メンバーに経営者が多い朝活に毎週参加しているのですが、経営者の方は、ご自身の相続の事、会社の経営、社員の事、事業の承継など沢山の課題を抱えています。支社のメンバーとも話していますが、これからは、個人の相続、会社の事業承継のサポートを通じて、多くの経営者とその社員の皆様の成功、その会社の発展に携わっていかなければと思っています。地元の中小企業の繁栄が、地域活性化の一助となり、さらにそのお手伝いが社会貢献につながると考えているからです。

# 新たな融資の道を拓く 健全な企業経営と 対話により、 イワサキ経営 吉川正明



## 経産省の一押しツール 『ローカルベンチマーク』とは？

企業と金融機関が経営力、経営状態を共有することで  
早期の取組みや支援にもつなげることができ、  
企業の成長性にも目を向けさせる…そんなツール、ご存知ですか？



昨年10月に公表された、金融庁の「金融行政方針」。これにより、銀行融資は転換期を迎える。これまで、多くの銀行は「過去の財務データ」と「担保・保証」に依存した融資審査をおこなっていましたが、これからはそれだけではなく、「事業の内容・成長の可能性」にも目を向けるようにするという考え方です。これを「事業性評価融資」といいます。

一方で、経済産業省は昨年3月、それまで温めてきた「ローカルベンチマーク」を公表しました。このローカルベンチマーク、いったいどういうものなのでしょうか？

経済産業省のホームページにはこのような記載があります。

ローカルベンチマークは、企業の経営状態の把握、いわゆる「健康診断」を行うツール（道具）として、企業の経営者等や金融機関・支援機関等が、企業の状態を把握し、双方が同じ目標で対話をを行うための基本的な枠組みであり、事業性評価の「入口」として活用されることが期待されるものです。

### ローカルベンチマークの位置づけは？

ローカルベンチマークとは、いわば『健康診断』のようなものであり、経営者と金融機関、支援機関等が企業の経営状態を共有し合い、双方が同じ目標で

つまり、事業性評価融資を勧める金融庁と、それを後押しする経済産業省。これまで銀行融資が難しかった会社にも、あらたな銀行融資の道を拓こうというのが「ローカルベンチマーク」の役割でもあります。

また、このローカルベンチマークは、補助金のような国の施策にも関係します。例えば、ものづくり補助金では、経営力向上計画の認定が加点となると明記されていますが、経営力向上計画の作成手引きにおいて「ローカルベンチマーク」を考慮すべきことも明記されています。そして、今後は更にその利用範囲は拡大し、重要性を増していくでしょう。

そういう意味では、今後中小企業経営者にとって、このローカルベンチマークを知っているのと知らないのでは大きく差がつくことになります。今のうちにしっかりと勉強し理解しておく必要があります。



「企業の健康診断ツール」  
ローカルベンチマーク  
診断に必要な  
つの枠組み



線で『対話』を行い、企業経営の健全性を保つことを目的としております。この対話の中で、経営者に『気づき』を得てほしい、『本当に病気になる前に、皆で気づこうよ。』という意図があります。

すなわち、従来、経営コンサルタントが個別に実施していたようなこと、金融機関が独自でやっていたようなことを『国の施策』として一般化することで、社会全体として効率化・発展を図ろうとするものと言えます。

### ローカルベンチマークを活用すると？

具体的には「ローカルベンチマークツール」を活用して、財務情報(6つの指標)、非財務情報(4つの視点)に関するデータを入力します。そして、その結果を経営者、金融機関、支援機関が情報を共有し、自社の位置付けについて理解が進み、対話が深まることが期待されます。

ローカルベンチマークを活用するこ

とで、企業の経営力を把握することができ、かつ経営状態の変化に早めに気づき、早期の取組みや支援につなげていくことができます。

企業と金融機関との関係は何となく対立し合いうイメージがあります。しかし、そのような関係ではなく、企業は金融機関に自社の情報を積極的に開示し、金融機関は企業の財務数値以外の面も評価し、企業の成長性にもしっかりと目を向けるべきで、そのためのツールがこのローカルベンチマークなのです。

詳細は、経済産業省のローカルベンチマークのページをご覧ください。  
(※ページ下記参照)

エクセルベースのローカルベンチマークツールや利用マニュアルなどもここで提供されています。

### まとめてみると…？

このローカルベンチマークは、企業、金融機関、支援機関等が企業の現状

や問題点を把握・共有し、どのように改善していくべきなのかを考え実行していくために活用するものです。財務情報については数値で結果が出てきますが、この結果に一喜一憂する必要はありません。経営者が現状を認識して、問題点を今後どう改善していくかが大切なのです。ぜひこのツールを上手に活用していましょう。

また、当社ではこのローカルベンチマークツールの作成サービスも行っており、今後は、積極的にこのローカルベンチマークについての情報発信を行ってまいります。詳しくは担当者または、当社「財務コンサルティング事業部」までお問合せください。11月13日開催予定の『経営支援セミナー2017』でも、このテーマを取り上げる予定です。ぜひご参加ください。



株式会社  
沼津商会様

先代から託されたのは「社員への心配り」。そのアドバイスを基にスタッフと相談し合えるリレーションシップを築いた現社長。衛生・洗浄分野で地域を支える業務用洗剤のエキスパートをご紹介。



取締役 会長 小澤 芳従 氏  
(よしふく)  
専務 小澤 喜代美 氏

会社を継ぐことを決めた息子に言った  
「今いる社員たちを大事にする」ことを  
きちんと守ってくれていることが  
とても嬉しいです。



代表取締役 小澤 芳従 氏

沼津市下香貫で、各種業務洗剤や除菌・殺菌剤等を取り扱う株式会社沼津商会様。昭和55年に創業。当時石鹼が主流だった業界が、食器用洗浄機の普及や衛生意識の向上に伴い、各種業務用洗剤の需要の拡大があり、その時代に合わせて事業を行ってきました。大変だった時もありましたが「開業時からガムシャラに頑張った」結果、素晴らしいお客様に恵まれて今があると、社長をはじめ皆さま口を揃えてお話し下さいました。

事業承継を考えるようになったのは、古い経営システムからの転換をしなければ会社の成長は望めないと考えたことや、毎日の車の運転が心配になってきたのがきっかけと、会長の小澤芳従氏。

当初は、芳従氏の代で辞めてのんびりしたかったと、芳従氏と二人三脚で事業を支えてきた専務である奥様の喜代美さん。お客様に「辞めようかな」という話をすると「辞めるのは勿体無い」と言われ、さらに息子の芳従氏が会社を継ぐことを決め、「それなら最後まで頑張ってやっていかなくては」と気持ちを切り替えたそうです。

芳従氏が会社を継ぐ意思を示したときに、芳従氏が

出した条件は「今働いている社員さんたちのことを考えて」でした。芳従氏は大学院で経営を学び知識を持っていますが、その知識をそのまま会社に持ってこられたときに現状の社員との摩擦が起きないかをとても心配したこと。

しかし、その心配は杞憂に終わります。会長の代でできなかったパソコンの活用などを少しづつ実行し、今では社員も様々なことに関して芳従氏を信頼して相談しています。心配していた「今いる社員たちを大事にする」という条件をきちんと守ってくれていることがとても嬉しいと、喜代美さんも目を細めていました。

バトンを渡された現社長の芳従氏は子供の頃から見てきた親の背中を見つつ、これからますます効率化を図り、社員全員が働きやすい仕組み作りを進めていきたいと意気込んでいます。



仕事の効率化に加え、IT化を進める芳従氏。大学院で学んだ経営の知識に凝り固まることなく、柔軟な思考で事業展開を行っています。その姿勢は従業員の信頼を得るに相応しいリーダーです。

## 株式会社 沼津商会

〒411-0015 沼津市下香貫沢入2211-7  
TEL:055-932-7598  
URL:<https://www.numazushokai.co.jp/>

「イワサキ経営さんには30年近くお世話になっています。過去に2回ほど来た税務調査の時もよくやっていたいただきました」と嬉しいお言葉をいただきました。

監査部 推進三課 渡邊 貴洋



専務には人生のアドバイスも頂いています！



area spot infomation

富士山と街と海が  
一望できる！

# 香貫山



市街地に隣接したハイキングスポット！  
自然や景色に癒されるウォーキングに出掛けませんか？



▲駿河湾の海岸線から富士山、箱根の山々まで見渡せる360°の大パノラマ風景が楽しめる展望台。立体地図で周辺の地形を把握することができます。



### 香貫山からの夜景風景。



## アクセス

### 自家用車

香陵台駐車場(香貫山登山口)

10台程度駐車可

中瀬駐車場(香貫大橋左岸側、県道沿い)

15台程度駐車可(8:00~17:30)

バス(沼津駅南口から)

香貫山登り口

「外原・温水プール行き」に乗車、「靈山寺」バス停で下車。

黒瀬登り口

「医療センター循環」「大平」「沼津商業高校」のいづれかに乗車、「黒瀬」バス停で下車。